

南海電鉄グループ

軌道 陸運・海運 バスほか

阪堺電気軌道(株)

(昭和55年7月7日設立)

〒558 大阪市住吉区清水丘三丁目14番72号

TEL.06(674)5146 FAX.06(674)1344

代表者 川久保晋

資本金 4億5,000万円

従業員 222人

阪堺線(恵美須町～浜寺駅前間14.1^{キロ})、
上町線(天王寺駅前～住吉公園間4.6^{キロ})の軌道業。
車両53両保有(客車52両、電動貨車1両)。

南海観光バス(株)

(昭和55年2月12日設立)

〒559 大阪市住之江区新北島五丁目1番69号

TEL.06(682)0009 FAX.06(682)0011

代表者 小川雅生

資本金 1億8,000万円

従業員 110人

貸切バス(51両)、旅行あつ旋事業。

関西空港交通(株)

(平成3年4月1日設立)

〒598 泉佐野市りんくう往来北2番地3

TEL.0724(61)1371 FAX.0724(64)1201

代表者 川勝泰司

資本金 3億円

従業員 125人

関西国際空港と大阪・守口・尼崎・神戸・奈良・和歌山・宇治・彦根など周辺主要都市を結ぶリムジンバス及び貸切バス事業(67両)。

和歌山バス(株)

(昭和50年12月15日設立)

〒641 和歌山市和歌浦西一丁目8番1号

TEL.0734(45)5245 FAX.0734(45)7271

代表者 坂脇徳豊

資本金 4億円

従業員 265人

和歌山市を中心に路線バス、空港リムジンバス、高速バス及び定期観光バス事業(119両、903.46^{キロ})。

南海りんかんバス(株)

(平成4年11月2日設立)

〒648 和歌山県橋本市市脇五丁目1番24号

TEL.0736(33)0056 FAX.0736(33)0056

代表者 則真修一

資本金 2億円

従業員 32人

橋本市・高野山での路線バス事業(31両、127.3^{キロ})。

和歌山南海観光バス(株)

(昭和60年9月2日設立)

〒641 和歌山市西浜866番地

TEL.0734(44)3116 FAX.0734(45)4316

代表者 島本芳紀

資本金 9,000万円

従業員 94人

貸切バス(40両)、旅行あつ旋事業。

御坊南海バス(株)

(昭和59年3月6日設立)

〒644 和歌山県御坊市藪37番地

TEL.0738(22)1020 FAX.0738(23)3369

代表者 奥 和夫

資本金 9,000万円

従業員 74人

御坊を中心に路線バス(30両、240.3^{キロ})、貸切バス(17両)事業。

熊野交通(株)

(昭和18年11月16日設立)

〒647 和歌山県新宮市新宮6968番地の2

TEL.0735(22)5101 FAX.0735(23)0001

代表者 鈴木敬二

資本金 9,000万円

従業員 273人

新宮・那智勝浦・串本を中心に路線バス(44両、470.8^{キロ})、定期観光バス(19両)、貸切バス(21両)、新宮～湊峡間定期航路事業(ウォータージェット16隻、プロペラ船1隻、その他1隻)。

徳島バス(株)

(昭和17年2月4日設立)

〒770 徳島市出来島本町一丁目25番地
TEL.0886(22)1811 FAX.0886(23)9964

代表者 林 禎彦

資本金 1億4,420万円

従業員 392人

徳島県全地域・淡路島への路線バス及び高速バス(178両、1,343.95キロ)、貸切バス(56両)。

南海タクシー(株)

(昭和31年7月5日設立)

〒590 堺市神南辺町1丁45番地の1
TEL.0722(32)6764 FAX.0722(38)0957

代表者 松尾剛男

資本金 1億円

従業員 655人

大阪市・堺市・岸和田市・河内長野市・和歌山市・橋本市などでタクシー(264両)、大阪府・和歌山県下で貸切バス事業(23両)。

サザンエアポート交通(株)

(昭和48年12月22日設立)

〒590-05 泉南市樽井三丁目39番19号
TEL.0724(85)2637 FAX.0724(85)2690

代表者 松尾剛男

資本金 2,000万円

従業員 53人

泉佐野市、阪南市などでタクシー事業(14両)。
空港従業員輸送の特定バス事業(12両)。

ニッポンレンタカー南海(株)

(昭和45年4月20日設立)

〒556 大阪市浪速区難波中二丁目6番12号
TEL.06(632)4735 FAX.06(632)0798

代表者 山下信行

資本金 1,000万円

従業員 48人

大阪市・堺市・岸和田市・泉佐野市・りんくうタウン・和歌山市・白浜町に営業所を設け、レンタカー及びカーリース事業を経営。

サザントランスポートサービス(株)

(明治43年7月12日設立)

〒590 堺市神南辺町一丁目45番地の1
TEL.0722(29)8012 FAX.0722(29)4023

代表者 岩永良明

資本金 4,000万円

従業員 153人

貨物運送業、倉庫業、航空貨物・旅客手荷物ハンドリングサービス。

南海フェリー(株)

(昭和50年8月20日設立)

〒640 和歌山市湊2835番1
TEL.0734(22)2160 FAX.0734(22)9335

代表者 常川隆司

資本金 4億円

従業員 179人

フェリー(和歌山～小松島)、高速旅客船(和歌山～徳島)の定期航路事業。フェリー3隻、高速船1隻。

大阪湾フェリー(株)

(昭和35年7月27日設立)

〒598 泉佐野市上町三丁目11番25号
TEL.0724(69)0621 FAX.0724(69)0854

代表者 北畑正紀

資本金 1億9,000万円

従業員 172人

フェリー定期航路事業(深日～津名)。フェリー3隻。

(株)えあぽーと あわじ あくあらいん

(昭和24年3月19日設立)

〒598 泉佐野市上町三丁目11番25号
TEL.0724(69)6964 FAX.0724(69)6655

代表者 北畑正紀

資本金 8,000万円

従業員 55人

旅客定期航路(関西国際空港～洲本、関西国際空港～津名、深日～由良～洲本)事業。高速船5隻。
(平成6年9月1日、「深日海運(株)」の社名変更)。

南汽観光(株)

(昭和46年6月1日設立)

〒640 和歌山市薬種畑無番地
TEL.0734(33)2491 FAX.0734(31)9368

代表者 西村武彦

資本金 1億9,200万円

従業員 30人

旅客定期航路(加太～友ヶ島)事業及び港湾サービス事業。旅客船2隻。

旅館・ホテル

南海サウスタワーホテル(株)

(昭和63年4月2日設立)

〒542 大阪府中央区難波五丁目1番60号

TEL.06(646)1111 FAX.06(648)0331

代表者 本田龍三

資本金 10億円

従業員 726人

「南海サウスタワーホテル大阪」(客室548)を経営。

(株)ホリディン南海

(昭和53年4月1日設立)

〒542 大阪府中央区心斎橋筋二丁目5番15号

TEL.06(213)8281 FAX.06(213)8404

代表者 青木恵二郎

資本金 2億円

従業員 155人

ホテル「ホリディン南海大阪」(客室229)を経営。

淡の輪観光(株)

(昭和36年9月13日設立)

〒599-03 大阪府泉南郡岬町淡輪4860番地の7

TEL.0724(94)3355 FAX.0724(94)3365

代表者 平田朔男

資本金 3,000万円

従業員 47人

たんのわ遊園で割烹「たんのわ苑」を経営。大阪府立青少年海洋センター・ファミリー棟「マリンロッジ海風館」を受託経営。

(株)紀の川苑

(昭和39年8月20日設立)

〒648 和歌山県橋本市向副654番地

TEL.0736(32)1000 FAX.0736(34)0043

代表者 西岡昌治

資本金 3,000万円

従業員 49人

観光旅館「紀の川苑」(客室25)、「橋本カントリークラブ」で食堂を経営。

(株)白浜エンタープライズ

(昭和57年9月10日設立)

〒649-22 和歌山県西牟婁郡白浜町2018番地

TEL.0739(42)2733 FAX.0739(43)1007

代表者 田中等

資本金 4億8,000万円

従業員 54人

白浜温泉でホテル「グリーンヒル白浜」(客室82)を経営。

(株)中の島

(昭和35年3月31日設立)

〒649-53 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字勝浦1179番地の9

TEL.07355(2)1111 FAX.07355(2)1633

代表者 谷口 惇

資本金 3億円

従業員 183人

勝浦温泉でホテル「中の島」(客室153)、日置川町で国民宿舎「ふるさと」、すさみ町で同「枯木灘すさみ」を経営。

(株)湯の峯荘

(昭和38年11月8日設立)

〒647-17 和歌山県東牟婁郡本宮町下湯川上の平437番地

TEL.07354(2)1111 FAX.07354(2)0200

代表者 谷口 惇

資本金 1億円

従業員 15人

湯の峰温泉で観光旅館「湯の峯荘」(客室26)を経営。

南海鳴門観光開発(株)

(昭和60年2月13日設立)

〒771-03 徳島県鳴門市瀬戸町大島田字中山1番地の1

TEL.0886(88)1211 FAX.0886(88)1215

代表者 忠津利明

資本金 4,000万円

従業員 22人

「ホテル南海鳴門」(客室30)及びレストラン「シェンブルク」を受託経営。

建設・不動産

南海辰村建設(株)

(昭和19年6月30日設立)

〒556 大阪市浪速区難波中三丁目5番19号

TEL.06(644)7802 FAX.06(644)1227

代表者 芝谷 昭

資本金 25億1,700万円

従業員 1,061人

総合建設事業。土地建物の販売事業。

(平成7年10月1日、南海建設(株)が(株)辰村組と合併し南海辰村建設(株)となる。資本金は、9月末現在の両社資本金の合算額を記載)

大阪スタジアム興業(株)

(昭和24年10月31日設立)

〒542 大阪市中央区難波五丁目1番60号

TEL.06(632)6256 FAX.06(632)8420

代表者 岡本和夫

資本金 13億5,300万円

従業員 204人

スタジアム施設、ビル賃貸業、住宅・宅地・マンション分譲。

(平成3年6月1日、南海不動産(株)と合併)

住之江興業(株)

(昭和27年5月15日設立)

〒559 大阪市住之江区泉一丁目1番71号

TEL.06(682)6200 FAX.06(683)5368

代表者 安藤 弘

資本金 4億円

従業員 66人

競艇場施設の賃貸。住之江競艇場(陸地50,907^{平方}メートル、水面63,400^{平方}メートル、計114,307^{平方}メートル、収容人員30,994人)。

(株)南海ホーム

(昭和62年4月24日設立)

〒556 大阪市浪速区難波中一丁目10番4号

TEL.06(643)5917 FAX.06(643)5122

代表者 田中章嗣

資本金 1億円

従業員 78人

住宅建築の請負・設計・施工、住宅の販売代理業。

(株)南海東京ビルディング

(昭和41年12月1日設立)

〒104 東京都中央区銀座五丁目15番1号

TEL.03(3543)3733 FAX.03(3542)3257

代表者 竹口 坦

資本金 2億円

従業員 28人

貸ビル「南海東京ビルディング」(延面積12,000^{平方}メートル)の経営。

南海住宅流通サービス(株)

(昭和58年7月21日設立)

〒542 大阪市中央区難波五丁目1番60号

TEL.06(633)7710 FAX.06(633)8025

代表者 高田 亮

資本金 1,000万円

従業員 31人

不動産の仲介・あっ旋事業。

南海地所(株)

(昭和45年9月2日設立)

〒556 大阪市浪速区難波中一丁目10番4号

TEL.06(647)3924 FAX.06(647)3924

代表者 朝倉英雄

資本金 4億円

従業員 2人

用地買収及び宅地・住宅の分譲。

流通・レジヤ^{ほか}

南海商事(株)

(昭和22年6月1日設立)

〒556 大阪市浪速区難波中一丁目10番4号

TEL.06(633)1419 FAX.06(631)1630

代表者 泉谷一夫

資本金 7,000万円

従業員 244人

駅売店、食堂・喫茶店、宝くじ店、ショッピングセンター(高石、和歌山)を経営。

北海道流通開発(株)

(昭和49年5月1日設立)

〒532 大阪市淀川区西中島五丁目10番15号

TEL.06(304)8562 FAX.06(304)8525

代表者 廣岡隆義

資本金 5,000万円

従業員 51人

沿線でスーパー「南海西友」6店、コンビニエンス「ファミリーマート」2店を経営。

(株)新南海ストア

(昭和32年7月5日設立)

〒542 大阪市中央区難波千日前15番19号

TEL.06(641)9443 FAX.06(643)3768

代表者 樋口嘉弘

資本金 4,800万円

従業員 16人

百貨小売業。ナンバ店(なんなんタウン内)、ウメダ店(ホワイティウメダ内)、ドーゾマ店(ドーチカ名店街内)、ナンバシティ店(なんばCITY内)、ナガノ店(ノバテイながの北館内)、シンカナオカ店(しんかなCITY内)を経営。

(株)南海徳島ビルディング

(昭和38年3月18日設立)

〒770 徳島市寺島本町東三丁目8番地

TEL.0886(22)5300 FAX.0886(23)0234

代表者 草郷龍太郎

資本金 4億5,000万円

従業員 21人

徳島駅前できしまCITYの経営及びビル賃貸事業。

南海興産(株)

(昭和41年2月11日設立)

〒542 大阪市中央区難波五丁目1番60号

TEL.06(631)0102 FAX.06(634)3390

代表者 嶋田三郎

資本金 1,600万円

従業員 87人

食堂・喫茶店、ストア及び駐車場、遊技場の経営。

(株)ブルーム南海

(昭和58年7月21日設立)

〒556 大阪市浪速区難波中二丁目8番110号

TEL.06(631)0806 FAX.06(632)8419

代表者 野上豊彦

資本金 5,000万円

従業員 37人

造園緑化事業の請負・フローリスト事業・貸鉢リース事業・生花販売事業。

(株)南海国際旅行

(昭和25年10月6日設立)

〒556 大阪市浪速区難波中一丁目10番4号

TEL.06(641)6000 FAX.06(644)6100

代表者 岩永良明

資本金 4億8,000万円

従業員 549人

海外・国内旅行、航空券、JR券の発売及び国際航空貨物取扱事業、貿易事業、通関業務。

新和歌遊園(株)

(昭和33年12月8日設立)

〒641 和歌山市新和歌浦2番10号

TEL.0734(44)1161 FAX.0734(45)3116

代表者 家嶋孝光

資本金 7,000万円

従業員 17人

新和歌遊園及び旅館「萬波」(客室44)を経営。

南海橋本観光開発(株)

(昭和40年2月1日設立)

〒648 和歌山県橋本市隅田町下兵庫1123番地

TEL.0736(36)1111 FAX.0736(37)3330

代表者 道本隆美

資本金 3億2,000万円

従業員 137人

「橋本カントリークラブ」(27ホール、10,775ヤード、バー108)及びテニスコートを経営。

(株)南海スポーツ

(昭和58年5月4日設立)

〒559 大阪市住之江区西住之江一丁目1番21号

TEL.06(675)5300 FAX.06(671)1697

代表者 綿石正博

資本金 2,000万円

従業員 112人

会員制総合スポーツクラブ「CITY SPORTS すみのえ」及び飲食店の運営。

鬼ヶ城観光開発(株)

(昭和35年10月12日設立)

〒519-43 三重県熊野市木本町1835番地の7

TEL.05978(9)4141 FAX.05978(9)5353

代表者 栃尾九兵衛

資本金 2,700万円

従業員 39人

熊野市の名勝「鬼ヶ城」でレストラン・売店などを経営。

南海砂利(株)

(大正8年8月24日設立)

〒648 和歌山県橋本市学文路191番地の2

TEL.0736(32)0464 FAX.0736(33)0205

代表者 金岡 潔

資本金 4,000万円

従業員 39人

生コンクリートの生産販売。碎石の生産販売。その他、土木・建築資材の販売。

南海印刷(株)

(昭和24年8月25日設立)

〒556 大阪市浪速区桜川三丁目8番37号

TEL.06(568)5454 FAX.06(568)5954

代表者 永井敬造

資本金 1,600万円

従業員 36人

乗車券類・伝票帳表類・手帳・PR誌・ポスター・カレンダー・包装紙及び各種印刷物の受注生産。

南海車両工業(株)

(昭和32年10月21日設立)

〒590 堺市戎島町四丁目1番地

TEL.0722(33)7805 FAX.0722(22)2087

代表者 清林義勝

資本金 8,000万円

従業員 170人

鉄道車両及び自動車の分解整備・一般修理・部品などの販売、油脂燃料の販売、損害保険代理事業。

南海ビルサービス(株)

(昭和53年4月1日設立)

〒556 大阪市浪速区難波中二丁目7番2号

TEL.06(646)3121 FAX.06(646)3031

代表者 渡邊 隆

資本金 3,000万円

従業員 202人

ビルの総合管理事業。鉄道関連施設の設備機器保守管理。

北欧フードサービス(株)

(昭和60年9月18日設立)

〒559 大阪市住之江区西住之江一丁目1番8号

TEL.06(678)2222 FAX.06(678)1400

代表者 中道松治

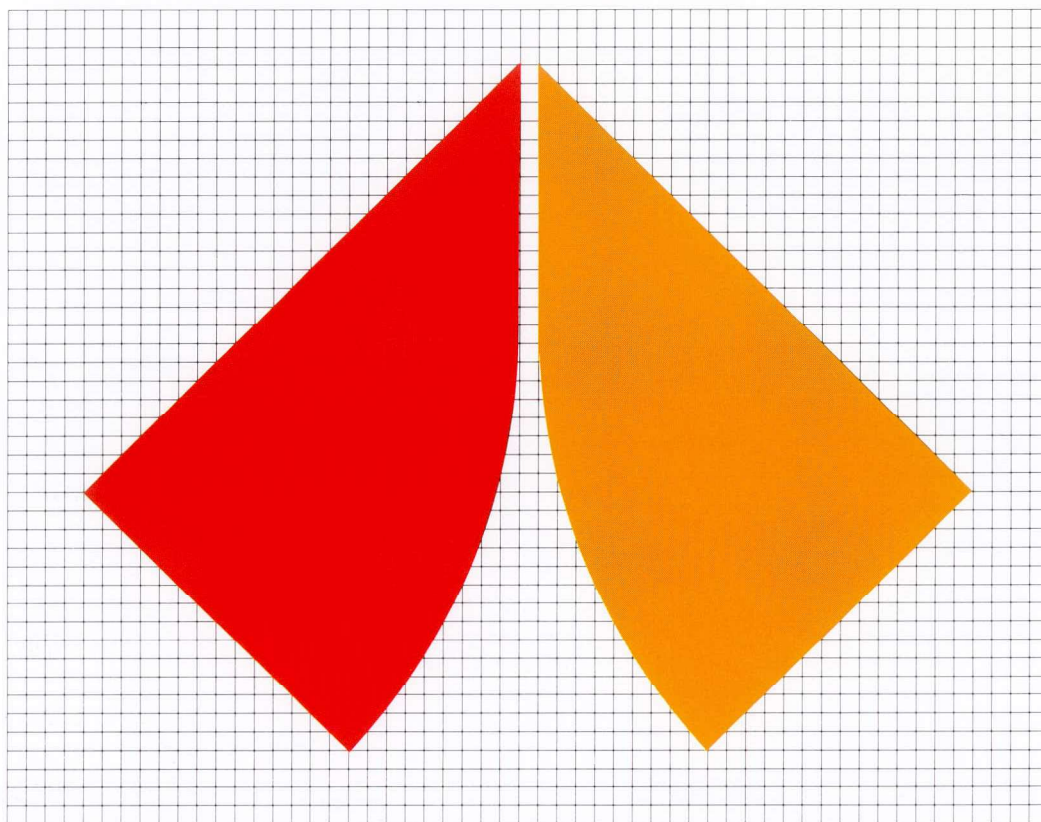
資本金 8,000万円

従業員 125人

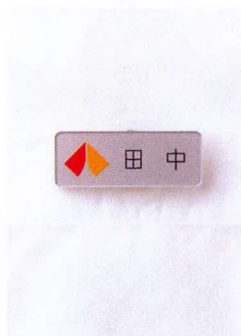
パン及び和洋菓子の製造販売。

(平成7年7月1日現在。但し、南海辰村建設(株)は同年10月1日現在)

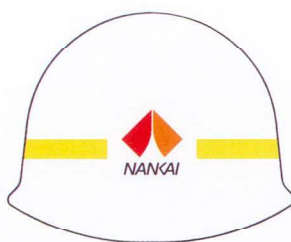
コーポレートシンボル



名札



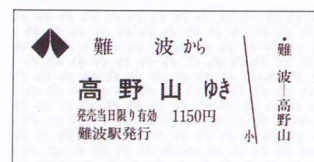
ヘルメット



ワッペン



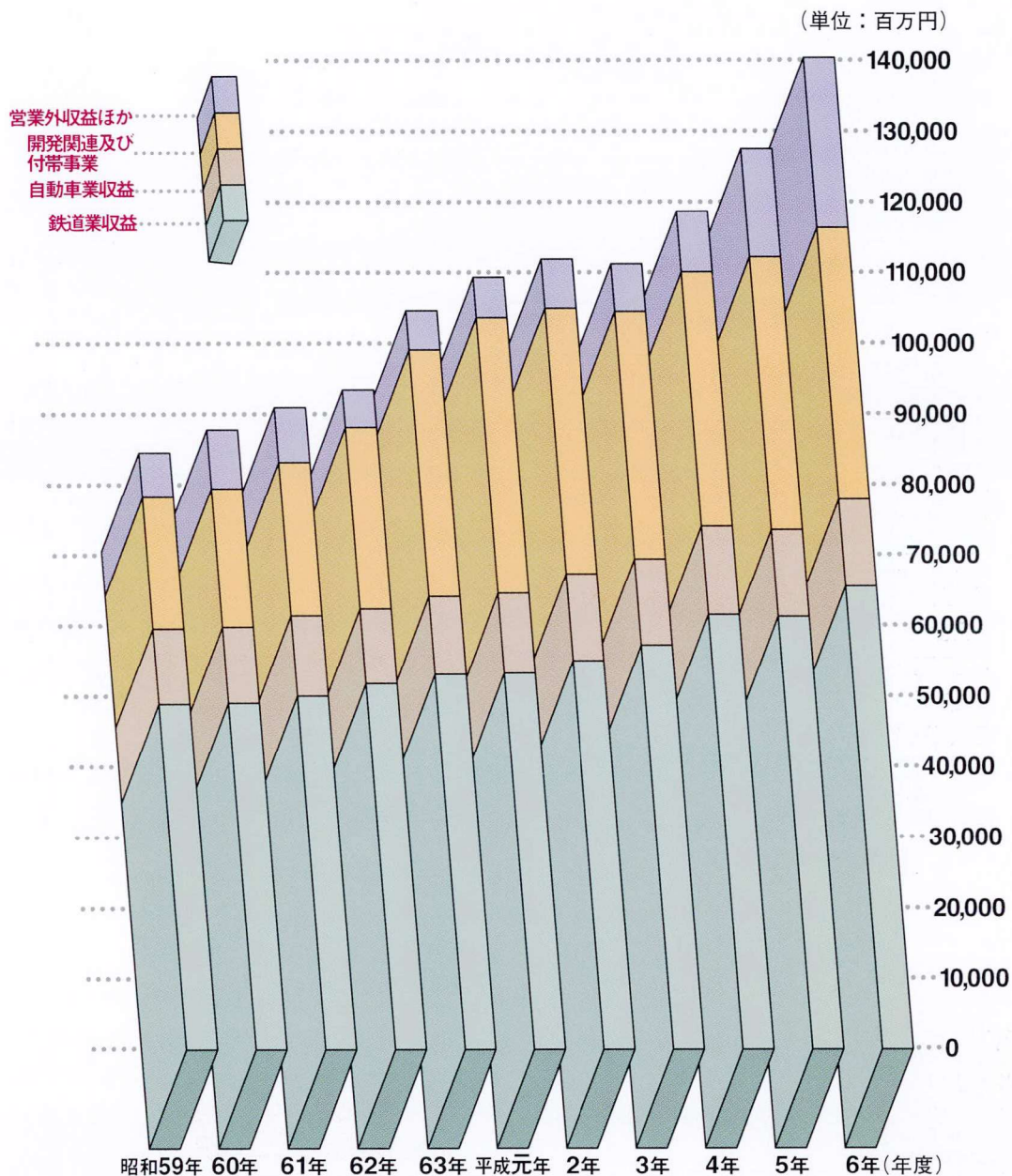
普通乗車券



先頭車両・後部車両



最近10年の業績推移

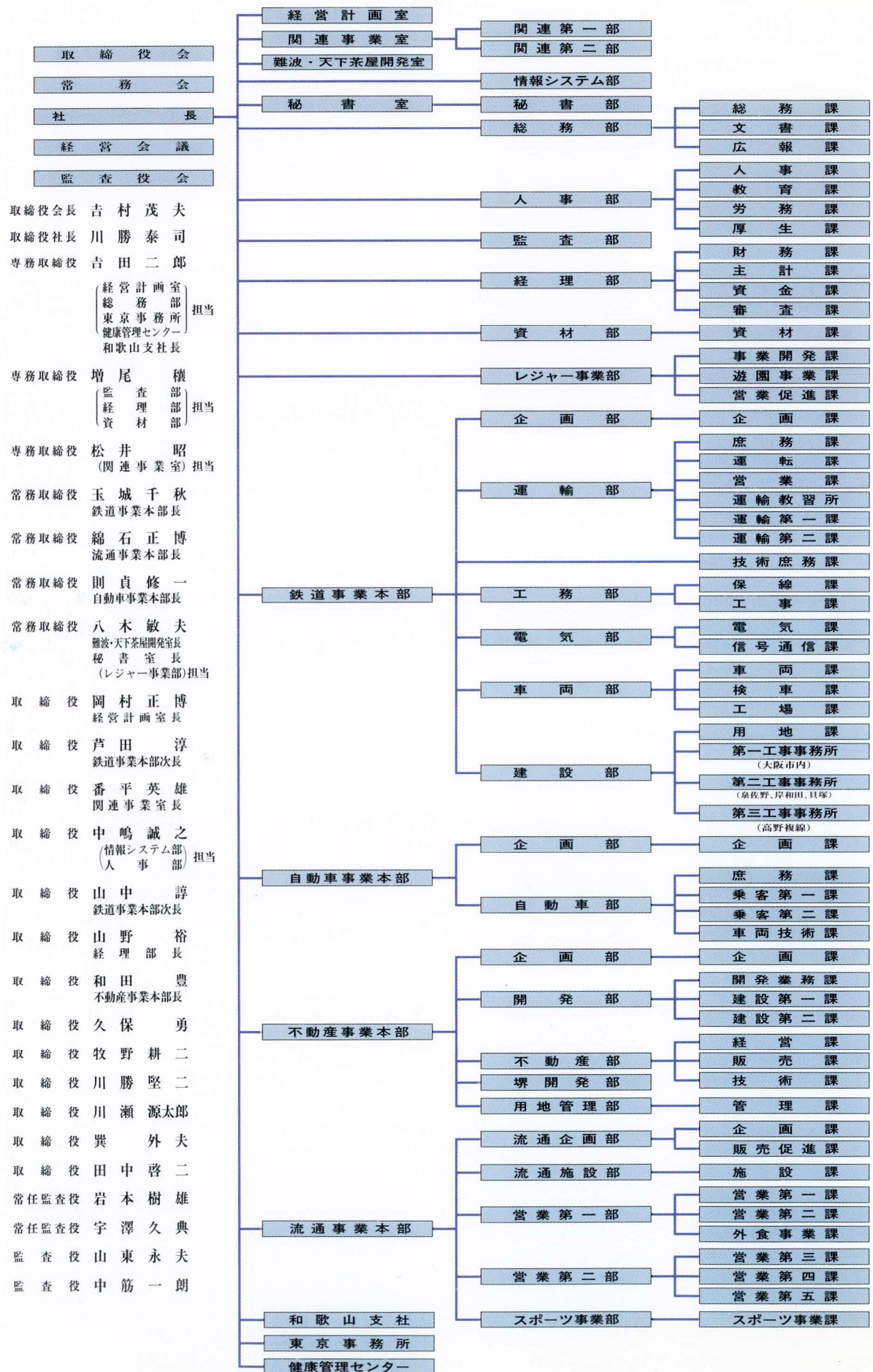


(単位：百万円)

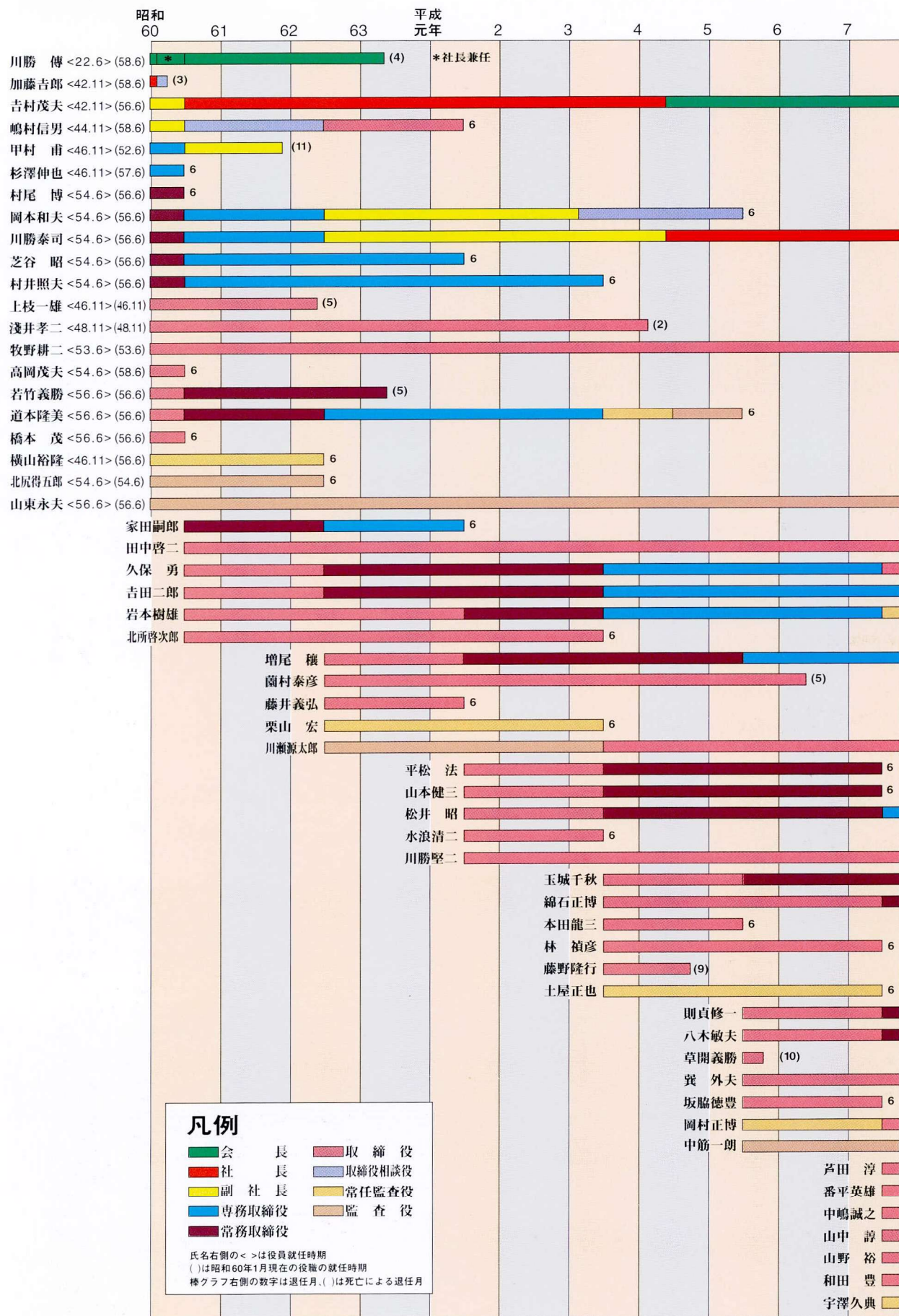
年度	総収益	(総収益の内) 鉄道業収益	(総収益の内) 自動車業収益	(総収益の内) 開発関連 及び付帯事業	営業外収益 ほか	経常利益	当期利益
昭和59(1984)	84,790	49,094	10,681	18,650	6,364	937	1,227
60(1985)	88,051	49,243	10,769	19,676	8,362	1,077	1,339
61(1986)	91,234	50,226	11,384	21,813	7,810	792	1,497
62(1987)	93,691	51,980	10,595	25,784	5,331	2,711	1,505
63(1988)	104,893	53,268	11,039	35,008	5,576	3,036	1,590
平成元(1989)	109,572	53,420	11,333	39,141	5,676	4,969	2,017
2(1990)	112,127	55,207	12,308	37,695	6,915	2,641	2,231
3(1991)	111,450	57,393	12,200	35,142	6,712	3,922	2,538
4(1992)	118,892	61,725	12,530	36,044	8,590	4,947	2,603
5(1993)	127,775	61,451	12,290	38,665	15,367	4,934	2,713
6(1994)	140,605	65,690	12,323	38,572	24,018	4,203	2,750

業務組織図

(平成7年6月29日現在)

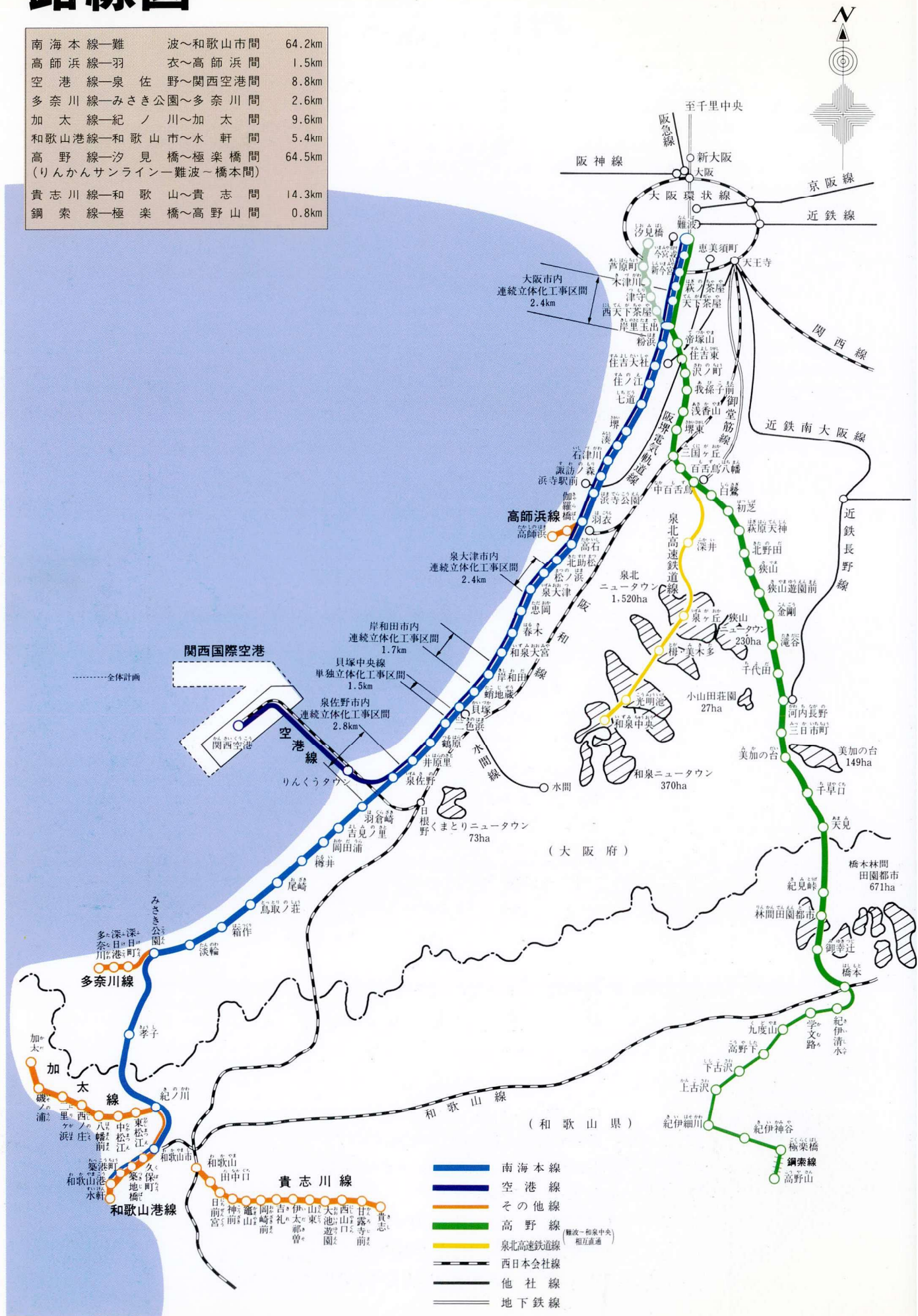


役員任期一覽 (昭和60年1月～平成7年9月)



路線図

南海本線—難波	波～和歌山市間	64.2km
高師浜線—羽衣	衣～高師浜間	1.5km
空港線—泉佐野	野～関西空港間	8.8km
多奈川線—みさき公園	～多奈川間	2.6km
加太線—紀ノ川	～加太間	9.6km
和歌山港線—和歌山市	～水軒間	5.4km
高野線—汐見橋	～極楽橋間	64.5km
(りんかんサンライン—難波—橋本間)		
貴志川線—和歌山	～貴志間	14.3km
鋼索線—極楽橋	～高野山間	0.8km



- 南海本線
 - 空港線
 - その他線
 - 高野線
 - 泉北高速鉄道線
 - 西日本会社線
 - 他社線
 - 地下鉄線
- (難波—和泉中央相互直通)

年 表 (昭和60年～平成7年)

1
9
8
5
昭和60年

- 1.28 川勝会長が社長(兼任)、加藤社長は取締役相談役に就任
- 2.13 南海鳴門観光開発(株)を設立
- 3.14 南紀直通ディーゼル急行「きのくに」の運転を廃止
- 3.23 加藤前社長逝去
- 3.30 南海本線大阪市内連続立体交差化工事(萩ノ茶屋～玉出間)が着工
- 4. 5 加藤前社長社葬(臨南寺会館)
- 4. 5 天王寺ターミナルビル(株)を国鉄との共同出資で設立
- 4.12 なんばCITYに直営レストラン「U-RA-RA」オープン
- 4.30 南海本線に初のステンレスカー(9000系)が営業運転開始
- 5. 7 南海本線堺市内連続立体交差化工事(大和川～石津川間)の下り線高架が完成し開通(上り線は昭和58年7月3日開通。昭和47年12月1日着工)
- 5.10 創業100周年記念式典、記念パーティーを挙行。「南海電気鉄道百年史」「南海沿線百年誌」を刊行し、映画「新生への躍動」を制作上映
- 5.22 南海本線堺市内連続立体交差化工事完成記念式典を挙行
- 5.31 創業100周年記念事業・公益信託「交通遺児等育英基金」設定
- 6.28 川勝会長兼社長が会長、吉村副社長が社長に就任
- 6.28 業務組織を変更(①総合経営計画室を新設②企画調査室を新規事業計画室に、関連事業部を室に改める③開発事業本部に開発企画部、流通事業本部に外食事業部と天王寺CITY準備室を新設④総合建設本部に計画部、建設部を設置⑤能力開発部を廃止、人事部に教育課を設置⑥自動車事業本部の整備部を廃止、整備課を自動車部へ所属変更)
- 6.30 南海本線・鳥取ノ荘駅改良工事が竣工
- 9. 2 和歌山南海観光バス(株)を設立
- 9.18 北欧フードサービス(株)を設立
- 10. 1 大阪地区乗合バス運賃改定を実施。平均改定率11%
- 11. 1 特急「サザン」(10000系)の営業運転を開始
- 11. 1 南海本線・泉佐野駅に特急を停車
- 12. 1 増資・新資本金207億3,400万余円に
- 12. 1 和歌山地区乗合バス運賃改定を実施。平均改定率6.4%
- 12.12 難波駅でターミナル情報システム「NANNET」稼働

- 3月14日 新幹線上野～大宮間開通
- 3月17日 つくば科学万博開催
- 4月1日 日本電信電話株式会社(NTT)、日本たばこ産業株式会社が発足
- 6月1日 改正男女雇用機会均等法公布
- 6月8日 大鳴門橋開通
- 7月16日 近畿運輸局「関西国際空港への鉄道アクセス」の都市計画原案を大阪府に提示
- 12月10日 政府「関西国際空港関連施設整備大綱」を関係閣僚会議で決定

1
9
8
6
昭和61年

- 4.11 グルメビル「グルカス」オープン
- 5.22 高野線複線化工事(御幸辻～橋本間)が着工
- 7. 1 業務組織を変更(総合建設本部に用地部を設置)
- 7. 4 「南海住ノ江ビル」が竣工
- 7. 7 1990年ビジョンー第5次5か年計画ーを策定
- 8. 5 創業100周年記念事業・「南海研修所」竣工
- 10.20 「紀見A地区」(小峰台)の土地区画整理事業施行認可を取得

- 3月14日 政府、鉄道事業法案・国鉄改革等施行法案を国会に提出
- 4月26日 チェルノブイリ原子力発電所事故
- 5月4日 東京サミット開催

1
9
8
6
昭和61年

- 10.20 クレジットカードの「南海カード」を発行
- 10.27 特急「サザン」のご利用客が100万人突破
- 11. 9 特急「サザン」(10000系)が「ローレル賞」を受賞
- 12.11 空港連絡鉄道の事業免許を地方鉄道法に基づき申請

9月8日 青函トンネルのレール締結

1
9
8
7
昭和62年

- 2.13 南海本線(泉佐野市)連続立体交差事業が大阪府都市計画地方審議会承認
- 3. 1 シャトルバスが堺駅前～堺東駅前間に運行開始
- 4. 1 みさき公園が開園30周年を迎える
- 4.24 (株)南海ホームを設立
- 5.16 鉄道運賃・料金の改定を実施。平均改定率8.9%
- 6.28 みさき公園30周年記念事業・「ぷ～るらんどRiO」オープン
- 7. 1 業務組織を変更(①難波ホテル準備室を新設②総合建設本部に難波ホテル建設事務所を設置し、新規事業計画室を廃止③鉄道・自動車の各事業本部に企画部を新設④流通事業本部の営業部を二部制に)
- 7.28 「紀見A地区」(小峰台)の宅地造成工事を着工
- 8. 1 プリペイドカード「マイチケット」「マイチケット+1」の発売開始
- 8. 4 スイス・フラン建新株引受権付社債を発行。発行総額1億スイス・フラン
- 9.26 「三石台」(紀見C地区)の分譲を開始
- 10. 1 大阪地区乗合バス運賃改定を実施。平均改定率5.4%
- 10.20 南海本線岸和田市内連続立体交差化工事(和泉大宮～蛸地蔵間)を着工
- 11. 1 コミュニティバスの営業運転開始
- 11. 7 空港連絡鉄道の事業免許を鉄道事業法に基づき申請
- 11.30 南海本線堺市内連続立体交差化工事(大和川～石津川間)の鉄道工事が完成
- 12. 1 和歌山地区乗合バスの運賃改定を実施。平均改定率5.0%
- 12. 2 空港連絡鉄道南海分岐線(泉佐野～前島〈仮称〉間)の第1種鉄道事業免許、前島～空港〈仮称〉間の第2種鉄道事業免許を取得
- 12.23 公益信託「南海電鉄交通遺児等育英基金」事業で紺綬褒状受章
- 12.24 空港連絡鉄道南海分岐線の第1次工事施行認可(土木)を取得(12月2日申請)

- 1月27日 関西国際空港事業安全祈願式典挙行、建設工事着工
- 3月18日 神戸市営地下鉄、名谷～西神中央間全通
- 4月1日 鉄道事業法を施行
- 4月1日 国鉄民営化実施、JR発足
- 4月18日 大阪市営地下鉄、あびこ～なかもず間開通
- 6月11日 前島の愛称「りんくうタウン」に決定
- 6月15日 空港連絡橋脚工事に着手
- 7月13日 信楽高原鉄道開業
- 8月18日 空港島埋立造成工事に着手

1
9
8
8
昭和63年

- 2.23 米ドル建新株引受権付社債発行。発行総額1億米ドル
- 3. 1 南海ホークスが球団創立50周年を迎える
- 3.31 南海本線堺市内連続立体交差事業が完成
- 4. 1 乗合バスの外装、内装デザインを一新へ
- 4. 2 南海サウスタワーホテル(株)を設立
- 4. 8 「南海サウスタワーホテル大阪」を起工
- 4.23 川勝会長逝去
- 5.19 川勝会長社葬(東本願寺難波別院)
- 5.24 吉村社長が南海ホークスオーナーに就任

- 2月13日 第15回カール加里冬季オリンピック開幕
- 3月13日 青函トンネル開通
- 4月2日 北神急行電鉄、北神線開業
- 4月10日 瀬戸大橋開通

- 7. 1 業務組織を変更(①開発事業本部と不動産事業本部を統合して不動産事業本部とし 5 部を 4 部に縮小②流通事業本部の企画・管理部門を統合し、6 部を 4 部に縮小③総合建設本部の計画部を廃止、建設部を二部制に)
- 7.14 駅の公共サインシステムを構築
- 7.27 米ドル建新株引受権付社債発行。発行総額 1 億米ドル
- 8. 高速バスの愛称を「サザンクロス」に決定
- 8. 9 浜寺公園駅舎にステーションギャラリーを開設
- 10.25 初の高速バス(和歌山～渋谷間)を運行開始
- 10.31 南海ホークス球団の経営権を㈱ダイエーに譲渡
- 11. 2 なんばCITYが開業10周年を迎える

- 5月15日 ソ連軍、アフガニスタンより撤退開始
- 5月25日 関西高速鉄道設立
- 7月 リクルート疑惑、政界に波及
- 7月16日 北近畿タンゴ鉄道開業
- 8月20日 イラン・イラク戦争停戦発効
- 9月17日 第24回ソウルオリンピック開幕

- 1.25 「南海サウスタワーホテル大阪」の上棟式を挙行
- 1.30 特急「サザン」用10000系車両 6 両<3 ユニット>を新造
- 3.29 「難波地区開発事業基本コンセプト」を発表
- 3.29 「南海我孫子ビル」が竣工
- 4. 1 消費税実施に伴い鉄道運賃・料金を改定。平均改定率2.96%
- 4. 1 「駅施設旅客サインマニュアル」を制定
- 4. 1 和歌山地区乗合バス運賃改定を実施。平均改定率3.0%
- 4. 5 高野線・千代田駅改良工事が竣工
- 4.20 「ノバティながの NANKAI SHOPS」オープン
- 5.18 米ドル建新株引受権付社債を発行。発行総額1.4億米ドル
- 6. 幹線運用の鉄道車両が100%冷房化(支線車両を含め97%)
- 6.26 高速バス(難波～富山間)が運行開始
- 6.30 業務組織を変更(①従来の経営会議を改組し組織図に明記②難波ホテル準備室、天王寺CITY準備室を廃止③新規事業企画室を新設④総合建設本部に難波開発部を新設⑤関西空港対策室は、これまでの業務に空港関連の新規事業も含めた業務内容とし、空港対策室に名称変更⑥関連事業室を二部制に)
- 7. 1 難波地区開発事業の「難波地区開発協議会」が発足
- 7.24 高速バス(堺・難波～佐世保間)が運行開始
- 8. 2 消費税実施に伴い大阪地区乗合バス運賃を改定。平均改定率は翌3月末まで6.4%、以降8.7%
- 10. 8 高速バス(堺～新宿・東京間)が運行開始
- 11. 1 禁煙タイムを全駅で実施
- 11. 3 吉村社長が勲二等瑞宝章受章
- 11.12 南海本線の最高運転速度を時速105^{km/h}から110^{km/h}にアップ
- 11.13 鉄道事故防止体制を体系的に再編成、整備強化してスタート
- 11.18 南海本線・貝塚駅橋上駅舎が竣工
- 11.28 株式配当を1割に復帰(平成元年度中間決算から)
- 12. 1 高速バス(堺・難波～岡山・倉敷間)が運行開始
- 12. 1 和歌山地区乗合バス運賃改定を実施。平均改定率4.1%
- 12.10 高速バス(難波～長野・志賀高原間)が運行開始
- 12.16 高速バス(難波～東京間)が運行開始
- 12.18 貝塚中央線南海本線単独立体化工事・鉄道施設の変更が認可(10月3日申請)

- 1月7日 昭和天皇崩御
- 1月8日 元号「平成」を施行
- 2月24日 大喪の礼
- 4月1日 消費税実施
- 5月31日 なにわ筋線建設に関して「大阪圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画」運輸大臣に答申
- 8月2日 北陸新幹線高崎～長野間起工式
- 11月9日 ベルリンの壁崩壊

1
9
9
0
平成2年

- 1.17 「南海堺コミュニティセンター(仮称)」建設計画を申請
- 1.26 高野線複線化工事・小原田車庫の建設工事を着工
- 2. 2 南海本線・みさき公園駅の改築が竣工
- 2. 8 「南海サウスタワーホテル大阪」が竣工
- 2.15 いずみライン(株)を設立
- 3.22 高速バス(堺・難波～鹿児島間)が運行開始
- 3.26 「南海高速バスセンター」を開設
- 3.29 「南海サウスタワーホテル大阪」が開業
- 4. 1 特急「サザン」に女性旅客係が乗務開始
- 4. 1 「なんば高速バスターミナル」を開設
- 4. 3 空港連絡鉄道南海分岐線の第2次工事施行認可(電気)を取得(元年5月22日申請)
- 5. 2 2000系一般車両が高野線で営業運転を開始
- 6.11 鉄道線の自然災害事故防止へ「防災情報システム」を構築
- 7. 1 業務組織を変更(①難波ホテル建設事務所を廃止し、堺建設事務所を新設②技術保全課の鉄道事業本部直轄を廃止し、工務部へ編入)
- 7. 1 高野線・林間田園都市駅に難波・橋本間特急を停車
- 7.27 林間田園都市駅前広場の整備工事が竣工
- 7.30 なんばCITYに直営ビアパブ「キリンシティ」オープン
- 8. 1 「紀泉シャトルライン」(粉河～熊取間)の路線バス運行開始
- 8.10 高速バス(堺・難波～道後温泉・松山間)が運行開始
- 8.22 南海電鉄協賛の第1回「南海コンサート」を開催
- 10.16 高速バス(難波～福井・芦原温泉間)が運行開始
- 11.15 高速バス(堺・難波～博多・前原間)が運行開始
- 12. 1 増資・新資本金412億6,637万余円に
- 12. 1 深夜急行バスを運行開始
- 12. 7 「南海電鉄サイン計画」が第24回「SDAシステム部門賞」を受賞
- 12.21 高速バス(堺・難波～広島・呉間)が運行開始

- 2月21日 神戸新交通、六甲アイランド線開業
 - 3月20日 大阪市営地下鉄、鶴見緑地線開業
 - 4月1日 北近畿タンゴ鉄道宮津線開業
 - 4月1日 「国際花と緑の博覧会」開催
 - 8月2日 イラク、クウェートに侵攻(湾岸戦争に発展)
 - 10月1日 東西ドイツ統一
 - 11月12日 即位の礼
-
- 3月19日 「成田エクスプレス」運転開始
 - 4月11日 湾岸戦争終結
 - 6月3日 雲仙・普賢岳で大規模火砕流発生
 - 6月20日 東北・上越新幹線、東京～上野間開通
 - 10月28日 神戸電鉄、公園都市線開業
 - 12月 欧州連合創設、合意に達する
 - 12月26日 ソビエト連邦、消滅

1
9
9
1
平成3年

- 1. 1 鉄道事業本部の「鉄道従事員行動規範」を制定
- 1.10 貝塚中央線南海本線単独立体化工事(貝塚～二色浜間)を着工
- 3.25 空港連絡鉄道南海分岐線(泉佐野～前島(仮称)間)建設工事を着工
- 4. 1 関西空港交通(株)設立
- 6. 1 大阪スタヂアム興業(株)が南海不動産(株)と合併
- 6.13 吉村社長が関西鉄道協会会長に就任
- 6.18 「南海中百舌鳥ビル」竣工
- 6.20 米ドル建新株引受権付社債発行。発行総額1.5億米ドル
- 6.27 業務組織を変更(①難波開発部を難波開発企画室に昇格②新規事業企画室と空港対策室を統合し事業開発室を新設③総合建設本部建設第二部に貝塚工事事務所を新設)
- 6.27 「コンピューター自動運転システム」が稼働
- 7.15 南海中百舌鳥ビルに福利厚生施設「南海なかもずクラブ」を開設
- 7.29 天下茶屋工場跡地に「大阪フィルハーモニー会館」竣工(平成2年7月13日起工)
- 8. 8 高速バス(和歌山・泉佐野・堺～東京ディズニーランド・千葉間)が運行開始

1
9
9
2
平成4年

- 9.11 第6次経営計画<3か年計画>-関西国際空港開港にむけて-を策定
- 10. 1 大阪地区乗合バス運賃改定を実施。平均改定率4.2%
- 11. 2 「小峰台」の分譲開始
- 11.20 鉄道運賃・料金の改定を実施。平均改定率12.7%
- 12. 1 和歌山地区乗合バス運賃改定を実施。平均改定率4.0%
- 12.12 南海本線(泉佐野市)連続立体交差化工事(井原里~羽倉崎間)を着工

- 2.15 高野線複線化工事「瀬間滝トンネル」が竣工(平成2年7月19日着工)
- 3. 1 本社・事業・技術部門で完全週休2日制を実施し、本社部門に5日間連続休暇制度「アクティブ休暇」を導入
- 3.10 ㈱南海物流センターを設立
- 4. 1 難波地区土地区画整理事業組合設立準備会が発足
- 4. 9 鉄道車両にニューカラーデザインを導入
- 4. 9 女性旅客係の愛称が「パッセンジャーアテンダント」に決まる
- 4. 9 高野線の新特急名称が「りんかん」に決まる
- 4.23 米ドル建新株引受権付社債発行。発行総額3億米ドル
- 5.22 吉村社長が会長、川勝副社長が社長に就任
- 6.29 業務組織を変更(①難波開発企画室を難波・天下茶屋開発室に改称②鉄道事業本部の企画部企画課は、新たに都市計画協議や大規模工事などの基本計画の策定及び総合建設本部との総合調整を担当③技術保全課を廃止④流通事業本部の営業部を二部制とし、営業第五課を新設。流通管理部の管理課は企画課へ統合)
- 7. 1 1000系一般車両が南海本線で営業運転開始
- 9. 2 「しんかなCITY」オープン
- 9.30 株主優待制度の拡充を実施
- 11. 1 「社員持ち株会」を全社員対象に変更
- 11. 1 難波駅大画面電光表示装置「NANA」が情報サービスを開始
- 11. 2 南海りんかんバス㈱を設立
- 11. 4 高野線で1000系一般車両の営業運転を開始
- 11.10 特急「りんかん」(11000系)が営業運転開始
- 11.10 高野線・金剛駅に特急・急行、林間田園都市駅に特急「こうや」を停車
- 11.10 特急「サザン」特急「りんかん」で車内情報サービスを開始

- 2月8日 第16回アルペールビル冬季オリンピック開幕
- 2月13日 東京佐川急便事件の強制捜査開始
- 3月14日 東海道新幹線に「のぞみ」登場
- 3月31日 JR総連加盟の三労組が民営化後初めてスト
- 6月15日 国連平和維持活動協力法案、可決
- 7月25日 第25回バルセロナオリンピック開幕
- 10月23日 天皇・皇后両陛下、初の中国ご訪問

1
9
9
3
平成5年

- 2.17 関西新空港への鉄道アクセス輸送計画を発表
- 2.26 和歌山地区(高野・橋本営業所管内)乗合バス事業の南海りんかんバス(株)への譲渡申請が認可
- 4. 1 CIを実施。新しい企業理念とコーポレートシンボルを制定し、鉄道(運輸・技術)部門、バス部門、女子社員の制服を一新
- 4. 1 天王寺支線を廃止(今池町~天王寺間)
- 4.18 岸ノ里駅と玉出駅を移設統合し、岸里玉出駅に駅名変更
- 4.18 南海本線大阪市内連続立体交差化工事(萩ノ茶屋~岸里玉出間)の高架が完成し複線開通(昭和60年3月30日着工)
- 5.28 CI導入による新外装デザインの路線バス運行開始

- 1月15日 釧路沖地震
- 1月20日 クリントン米大統領に就任
- 3月4日 大阪市営地下鉄動物園前~天下茶屋間が開通
- 6月9日 皇太子殿下ご成婚
- 7月12日 北海道南西沖地震

- 6.29 業務組織を変更(①難波・天下茶屋開発室を同部に改組し事業開発室に統合②空港対策部を空港関連事業部に名称変更し、新規事業部は廃止③情報システム室は同部に、秘書部は同室にそれぞれ改組④総合経営計画室は経営計画室に改称⑤総合建設本部用地部は企画部に改組し、企画課と用地課を新設)
- 7.28 空港特急の愛称を「ラビート」に決定
- 9.25 高石駅西地区市街地再開発ビル「ウエストプラザ高石」竣工
- 10. 1 乗合バス運賃改定を実施。平均改定率4.4%
- 11. 4 南海本線・堺駅西口オープン
- 11. 7 コンピューターによる新駅務システムの運用を開始
- 11.15 南海ビル屋上に空港特急の広告塔完成。空港開港日までのカウントダウンを開始
- 12. 3 「南海和泉府中ビル」竣工
- 12.27 初の3ドアバス車両を導入し河内長野営業所管内で運行開始

- 8月3日 関西国際空港の開港年月を平成6年9月と決定
- 8月9日 細川連立政権発足
- 9月25日 阪和自動車道全通
- 11月 関西国際空港の国際表示が「KIX」に決定

- 1.17 空港特急「ラビート」(50000系)が当社線に初入線
- 1.20 空港連絡鉄道のレール締結式を、前島く(仮称)駅の空港寄りで挙行
- 2.23 大阪市文化振興基金への功績により紺綬褒状の伝達を受ける
- 3. 1 空港連絡鉄道の駅名が「関西空港」「りんくうタウン」に決まる
- 3. 7 「南海線列車運行管理システム」(PTC)の更新完成
- 3.17 空港特急「ラビート」を空港連絡鉄道に初乗り入れ
- 3.22 「南海総合サービスセンター」がオープン
- 4.15 空港連絡鉄道の運賃・料金が認可(3月28日申請)
- 4.25 グループ誌「グループ南海・We」を創刊
- 6. 2 空港関連乗合バスの事業免許・運賃が認可(4月11日申請)
- 6. 7 空港連絡鉄道南海分岐線(空港線)が完成
- 6. 9 難波駅改修工事が竣工
- 6.15 空港線が開業し、空港開港前輸送を開始
- 6.15 全駅で終日禁煙を実施し、「喫煙コーナー」を設置
- 6.15 空港関連乗合バス5路線のうち、空港島内の2路線が営業開始
- 6.17 「南海電鉄バス空港出張所」を開設
- 6.22 第7次経営計画〔3か年計画〕—総合生活企業をめざして—を策定
- 6.29 業務組織を変更(①事業部とベイエリア開発部を統合してレジャー事業部に改組し事業開発、遊園事業、営業促進の3課とする②自動車部の業務第一課・同二課・整備課をそれぞれ乗客第一課・同二課・車両技術課に改称③不動産事業本部の開発部開発課を開発建設部開発業務課に統合④流通開発部の開発課を廃止、同部を流通施設部に改称し施設課を新設。また、営業第一部に外食事業課、営業第二部に営業第三課を置き、スポーツ・外食事業部はスポーツ事業部に改称、スポーツ事業課を置く)
- 7. 1 南海エアポートリムジンの愛称が「Sorae」に決定
- 7. 6 南海本線岸和田市内連続立体交差化工事(和泉大宮～蛸地藏間)下り線高架が完成し開通(上り線は平成4年5月17日開通)
- 7. 7 難波地区土地区画整理事業区域が確定し告示
- 7.21 高野線複線化工事(御幸辻～橋本間)の下り線が完成し開通
- 8. 4 空港特急座席指定券の発売を開始

- 1月29日 政治改革四法案成立
- 2月12日 第17回リレハンメル冬季オリンピック開幕
- 4月28日 羽田内閣発足
- 5月6日 英仏海峡トンネル開通
- 6月27日 松本サリン事件起こる
- 6月30日 村山連立政権発足
- 7月16日 「世界リゾート博」和歌山マリーナシティで開幕
- 8月 猛暑により断水被害、過去最悪に
- 9月1日 りんくうパラオープン
- 9月4日 関西国際空港開港
- 10月14日 「鉄道記念日」が「鉄道の日」として誕生

- 9. 1 南海エリア情報誌「South WAVE」を創刊
- 9. 1 深日海運(株)の社名を「えあぼーと あわじ あくあらいん」に変更
- 9. 4 空港特急「ラピート」が営業運転開始
- 9. 4 なんばCATの営業開始とともにフライト情報の提供を開始
- 9. 4 空港関連乗合バス5路線のうち残る3路線を営業開始
- 9. 4 関西国際空港ターミナルビルに「Café Nankai」オープン
- 9. 4 みさき公園駅に特急「サザン」、自由席特急を停車
- 9.27 「南海泉佐野ビル」竣工
- 9.30 「いずみおおつCITY」オープン
- 10.28 大阪市内連続立体交差化工事(萩ノ茶屋～岸里玉出間)で、高野線の
上り線高架が完成し開通
- 11.10 熊取南部地区宅地開発工事を起工
- 12. 5 空港特急「ラピート」の車内案内サインで第28回「SDA賞」受賞
- 12. 6 空港特急「ラピート」のご利用客が100万人を突破
- 12.18 早朝・深夜の空港特急を増発
- 12.23 空港特急の季節運転を開始
- 12.27 関西空港駅と大阪市営地下鉄各駅(鶴見緑地線を除く)との連絡乗車券
を発売開始

- 1.17 午前5時46分ごろ阪神・淡路大震災が発生。鉄道全線を午前11時(空
港線は午後1時30分)まで運転休止。被害は軽微。
- 2. 1 空港特急「ラピート」が「日経優秀製品・サービス賞」受賞
- 2.16 高速バス(大阪～広島間)臨時昼行便を震災の代替輸送として運行開始
(4月28日まで)
- 2.19 南海エアポートリムジン「Sorae」のご利用客が10万人を突破
- 2.24 新泉佐野営業所を起工
- 2.24 いずみライン(株)は、空港建設関係者や車両などの輸送使命を終え、清算終
了し解散
- 3. 1 空港関連乗合バスの新路線(空港・泉佐野線)を運行開始
- 3.14 南海本線(泉佐野市)連続立体交差事業・第1期工事(泉佐野～羽倉
崎間)の上り線高架が完成し開通(下り線は17日開通)
- 3.22 「サザンコート石津」竣工
- 4. 1 高野線・中百舌鳥駅舎改良工事の増設部が完成し、供用開始
- 4. 1 貴志川線のワンマン運転開始
- 4.26 災害対策、非常招集など危機管理体制を整備強化
- 5.30 空港特急「ラピート」(50000系)の「ブルーリボン賞」受賞が決定
- 6. 1 創業110周年記念式典を挙行政
- 6. 9 鉄道・鋼索運賃及び料金の改定が認可(1月19日申請、9月1日実
施)。平均改定率14.8%
- 6.28 難波地区土地区画整理組合の設立認可を大阪市へ申請
- 6.29 業務組織を変更(①事業開発室の空港関連事業部を廃止し、空港関連
業務を経営計画室へ移管。難波・天下茶屋開発部を同室に改組②情報
システム部の課制を廃止③不動産事業本部の開発事業と賃貸事業の企
画部門を統合し企画部を設置④総合建設本部の堺建設事務所を堺開
発部に改組し、不動産事業本部へ移管⑤総合建設本部にかえて鉄道事
業本部内に建設部を新設)

1月17日 阪神・淡路
大震災によりJR・阪
急・阪神各線などに
大きな被害
3月20日 東京で地下
鉄サリン事件起こる

あとがき

当社ではこれまで、「阪堺鉄道経歴史」（明治32年刊）、「開通50年」（昭和11年刊）、「南海鉄道発達史」（昭和13年刊）、「南海70年のあゆみ」（昭和32年刊）、「最近の10年—創業80周年記念」（昭和40年刊）、「創造と前進の10年—創業90周年記念」（昭和51年刊）、「南海電気鉄道百年史」（昭和60年刊）と計7編の社史を発行してまいりました。本書はこれらにつぐ、8番目の社史にあたるもので、創業100周年の昭和60年から、110周年を迎えた平成7年までの歩みを記録したものです。

本書は、10年史としては前作にあたる「創造と前進の10年」にならい、写真・図版をふんだんに用い、読みやすくわかりやすい誌面をつくることを基本方針とし、内容面では、当社の10年の歩みと現況の紹介にくわえ、関西国際空港を軸とした沿線地域の未来を展望する構成をとっています。

この10年は、当社のみならず国の内外においても非常に大きな意味をもつ時期であったといえます。この一冊が、激動の中をたゆまず歩んだ当社の歴史の一端を知らせるよすがとなれば幸いです。

最後に、ご執筆いただいた中村清氏（ジャーナリスト）をはじめ、本書の制作にご協力を賜った社内外の皆様には厚くお礼申し上げます。

社史編纂室

南海二世紀に入って 十年の歩み

平成7年11月発行

編集発行 南海電気鉄道株式会社

大阪市中央区難波5-1-60

印刷 南海印刷株式会社